

鳳仙

「日々感嘆」



宝船珊瑚・金銀・玉等、いろいろな宝と七福神を乗せたおめでたい船のことで、縁起物のひとつです。また、正月二日の夜に、この宝船の絵を枕の下に敷いておくと、吉夢を見ると言われています。

発行
桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話〇二七三三一一一七七

新しい年には厄除け

「ころばぬ先の杖」

今年の干支はサルで、ヒトに一番近い動物であるが、ヒトとサルの違いは「ほほ笑み」だそう。地球上で唯一ほほ笑むことができる動物はヒトだと、霊長類研究者は指摘する。子ども時代、お年

玉をもらってほほ笑んだことを思い出して欲しい。お年玉はうれしくてほしいものだった。そして、お正月も特別な感慨をもって迎えた。それは毎日のことでもいえる。今日という

十月三十一日「除夜の鐘」十一時より恒例の「甘酒」の接待をいたします。古

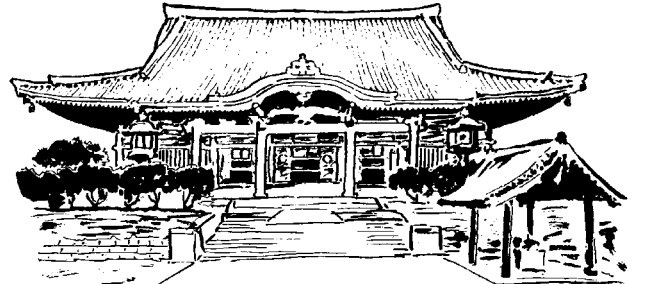
初厄除け

元旦〇時より 本堂にて、本年の厄を消除する、初厄除けの祈願を致します。一日より五日まで厄

平成15年度檀信徒本山研修

大本山總持寺と 修善寺・大雄山参拝に参加して

小川広夫



にアドバイスをして下さり、往復とも観光バスの中など、それは和やかな笑顔でいっばいの2日間でありました。生まれて初めての大本山で

世話人さんが増えました。

今まで、相生地区の世話人さんは五味田博さん山鹿精一さんだけでしたが、6名の方が本年度より増えました。宜しくお願

谷 啓

の法要に参加させて頂きその荘厳な空気に触れた瞬間ごく自然に合掌してしまっている自分に驚きました。本

同行者 木島幸雄 田島輝雄 住職 様

鐘つき堂 修復終了

壊れ掛けていた階段・手すり・床をこの度新しく修復しました。今年度は安心して除夜の鐘が突けます。



賀正

筆頭総代 下山 晴夫
総代 小此木秀夫 太田 亨文 長沢弘一郎 石原 竹雄 池田伊佐男

住職 坪井 良廣

感謝録

平成十五年四月 黒の着物生地1つ 酒井節子様
平成十五年十一月 金吉拾萬円 佐藤キク枝様
平成十五年十二月 法要袈裟一式 小林二郎様

厄年	前厄	本厄	後厄
男の大厄42才	37才	38才	39才
女の小厄37才	42年	43年	44年
女の大厄33才	46年	47年	48年
男25才の厄年	54年	55年	56年
女19才の厄年	60年	61年	62年
幼児4才の厄年	平成12年	13年	14年
男女61才の厄年	昭和17年	18年	19年

13才詣り・男女平成4年生れ

東洋一	金子恒雄	盛治
天笠勝美	木島幸雄	谷 啓
石原信子	木島富美雄	津久井裕治
板井政夫	桐生高治	都筑啓友
板倉光夫	桑子三喜男	長沢吉太郎
岩崎信作	桑原金吉	中島正雄
岩崎親道	小林詔一	長谷川孝元
内野正章	小林当二	羽田野孝次郎
梅沢守夫	小林満寛	廣神重子
大里政由	五味田博	平方敏郎
岡村栄三	清水義博	前原高男
小川廣夫	下山直二郎	峯崎一男
金丸由太郎	下山博康	山鹿精一
金子清	田嶋新二	吉田長生
金子宗吉	田嶋輝雄	(あいいうえ順)

すみぞめ

作務になりきる

大本山總持寺 修行僧 坪井良樹



(本山の百間廊下にて)

總持寺における修行僧の生活において、お経を読む事や座禅を組みません。寝ること、食事をいただくこと、掃除をすること、生活におけるすべての行動が修行です。

掃除、お山では作務(さむ)といいますが毎日の朝と昼の食後に行います。長い廊下を多くの人で素早く雑巾がけをします。修行に入ってから間もない頃は足腰が痛くて、すぐ疲れてしまいますが、慣れてくると同じ修行僧同士誰が早く拭けるか廊下で競争になってきます。疲れるし、めんどろな掃除も毎日同じ事を繰り返して

り返しているうちに、気持ちの持ち方ひとつで大きく変わるような気がします。

最近、山内の木々はすっかり紅葉し、参道は落ち葉が絨毯のように降り積もっています。この時期は落ち葉を掃いても掃いても、毎日落ち葉が落ちてきて中々綺麗にならず、こんな事なら毎日掃除してもしょうがないし、キリがないなあ。と仲間達と考えておりました。

その内の一人が野田後堂老師にその事をお話したところ、老師はこうおっしゃいました。

「君の煩惱や欲望も次から次ぎへと出てきてキリがないのと同じだよ、とにかく作務をしなさい」との事でした。つまり掃除の目的は綺麗にする事ですが、作務の目的は自分の心を磨く事にあるようです。只管作務をして、作務になりきる事(他の事を考えずに作務に集中する、無常)によって、自分

「老いの戒め」

- 一、紅葉は春の花よりも更に趣あり
- 二、若きより老いて後人円熟す 晩成すべし
- 三、昔日を自慢すべからず 励むべし
- 四、人の価値は今日に定まる
- 五、余命少なき一日は 慎むべし
- 六、若き日の十倍の価あり
- 七、世間に陰徳の種子まけば 努むべし
- 八、家門に陽報の花咲かん
- 九、いまだ死を免れたるものはあらず
- 十、迎えのある時は安んじて 旅立つべし

(西国第二十九番松尾寺訓読書より)

曹洞宗婦人会へのまなざし

曹洞宗婦人会

私たち婦人会がめざすものは、

曹洞宗の教えに根ざした信仰生活を確立するとともに、会員相互の連帯を深め、豊かな愛情によって清らかな社会を作り、もって平和な世界の実現をめざすことです。

- 1、信仰を深める宗教的な活動
- ・写経会・座禅会
 - ・読経会・法話の会
 - ・降誕祭・彼岸法要
 - ・施食会・成道会
 - ・涅槃会・除夜の鐘
 - ・梅花講(御詠歌)など。

- 2、社会に貢献するボランティア活動
- a 国際分野
 - ・被災地への支援金
 - ・教育支援 校舎建設 教材寄贈
 - b 国内分野
 - ・被災地への義援金
 - ・福祉関係への募金
 - ・曹洞宗グリーン・プランにもとづく活動

生活すべてに作法や進退が細かく定められており僧堂での規律を守り修行をしております。

修行とは、ここ總持寺の僧堂での限られた期間を過ごす為に行うものではなく、僧侶が仏門に入ってから

- 3、心豊かな生活を築く文化的な活動
- ・茶道・華道・書道
 - ・精進料理講習会
 - ・読書会
 - ・映画、音楽鑑賞

- 4、次代を育てる青少年の教科活動
- ・花まつり・地藏盆
 - ・子ども弾のつどい
 - ・健全育成のパンフレットやポスター作成など。

鳳仙婦人会だより

毎月、第二、第四木曜日の月二回、一時から三時まで石梁閣にて御詠歌のおけいこをしております。始めたい方は、お友達を誘ってお寺まで。

第一、第三木曜日の一時からお花のお稽古をしております。お問い合わせはお寺まで。



(秋の親睦旅行 / 那須にて)

- 十五年四月〜十六年三月までの行事
- 三月まで
 - 四月
 - ・二十九日 婦人会 総会
 - ・五月九日 桌婦人会 総会
 - ・七月一日 座禅と 朝粥の会
 - ・八月十九日 納涼会

- 三月十五日
- ・涅槃会、住職法話、涅槃団子の講習
- 四月
- ・秋の一日研修旅行 那須方面
 - ・十月十六日 秋葉三尺坊大祭とコンサート
 - ・十月二十日 聴松庵にて抹茶の接待
 - ・十一月二十日 本堂守、暮れの 大掃除奉仕
 - ・一月 新年会

平成十六年度年回表

一周忌	平成十五年
三回忌	平成十四年
七回忌	平成十年
十三回忌	平成四年
十七回忌	昭和六十三年
二十二回忌	昭和五十七年
二十五回忌	昭和五十五年
二十七回忌	昭和五十三年
三十三回忌	昭和四十七年
三十七回忌	昭和四十三年
四十三回忌	昭和三十七年
四十七回忌	昭和三十三年
五十回忌	昭和二十年
百回忌	明治三十八年

日曜・祝日の御法事お申込みは、お早めにお願ひします。

座禅と朝粥の会

毎月一日(正月を除く)七時より八時半まで座禅と朝粥の会を行っています。既に三年間続いています。皆様お出で下さい。(会費無料)

